

令和4年度 第1回 人権学習会 安来市音楽ユニット「ふれあい」人権コンサート

音楽を通して人権について考えてみませんか？

8月27日(土) 10時～12時

講師:安来市音楽ユニット「ふれあい」

安来市大塚ふれあいセンター(隣保館)を拠点に活動されている音楽ユニット「ふれあい」の皆さんをお招きし、人権学習会を行います。「ふれあい」の皆さんは県内各地の隣保館や公民館等で「人権コンサート」活動をしておられます。リーダーは4月の教養講座開講式で講演をいただいた森山茂樹さんです。コロナ禍の今だからこそ音楽に触れ、癒しの時間と、楽しみながら人権について考える機会にさせていただきたいと思います。お誘い合わせの上、ご参加ください。



「偏見をなくす」については……(学びの大切さ)」

♥ プチっと人権講座 ♥

今年は何年よりも、田んぼ周りの草刈の回数を増やしています。畔周りをきれいに刈ることで、昨年まで見えていなかったものが見えるようになります。例えばイノシシの足跡とか、水漏れの原因となる土手の小さな亀裂とか草に覆われて気づかなかったことがわかるようになります。

このようなことを発見すると早めに処置ができて稲づくりにもプラスになるかと思えます。

この欄において、同和問題をはじめとする色々な差別問題を解消する一つの有効な方法として「学習(学び)」の大切さを書いたことがあります。

差別問題が語られる時、「差別と偏見」とか「偏見」という言葉がセットでよく出てきます。

偏見とは偏ったものの見方や考え方をいい、「思い込み」、「決めつけ」とも言い換えることができます。この「偏見」や固定観念などの意識が、表現や行動として外部に現れてしまうのが差別の問題ではないでしょうか。偏見が差別を生み出すケースが多いとよく言われます。

改めて言うまでもないことですが、やはり、偏見をなくしていくことは差別をなくす大事な方法です。そして、この偏見をなくす有効な方法はやはり、学習(学び)ではないでしょうか。日常生活においてよくある「誤解」も私たちはお互いの不明な点を話し合いで明らかにし、誤解を解き人間関係を改善します。この作業は「偏見をなくす作業」と同じか相通じるものではないでしょうか。

偏見は「知らない、わからない」ことから生まれる場合が多くあります。草刈と同じように学ぶことにより、周囲の事柄がよく見えて新たな発見、気づきが生まれやすくなります。新たな発見・気づきにより不明な点を少しずつ減らし、偏見をなくし、やがては差別のない社会を作っていくことが必要ではないでしょうか。

◀ 9月の予定 ▶

- 1日(木) 神楽面作り教室
- 7日(水) いきいきクラブ
- 8日(木) ニコニコ健康教室
- 10日(土) 習字教室
- 14日(水) 絵手紙ボランティア
- 16日(金) 俳句教室
切り絵教室
- 19日(月) あみものクラブ
- 21日(水) フラワーアレンジメント・高梨フラワーアレンジメント教室
- 22日(木) ニコニコ健康教室
森林教室

いきいきクラブの活動

先月作ったゴキブリ団子を乾燥させ、袋詰めしました。大小様々なゴキブリ団子が約1100個。少ない参加者で作業は大忙しでしたが、数を数えながら手際よく詰めていただきました。都賀行地域の方にお配りしますが、必要な方がおられましたら、限られた数ではありますが隣保館に予備がありますのでご連絡いただくか、取りに来ていただければ差し上げます。



◀ 相談事業 ▶ 隣保館はいろいろな相談をお受けしています。様々な差別事象や差別発言等の人権相談をはじめ、パソコンの操作方法から申請書の書き方、日常生活での困り事、就労相談等幅広く扱っています。各関係機関と連携し、解決に向けて寄り添います。知りたいことやどこに相談していいかわからないことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。※隣保館には毎月ハローワークから求人情報が送られてきます。求職されている方、最新の情報が知りたい方はご利用ください。

教養講座・隣保館活動 作品展

教養講座の作品展を開催します。

展示期間：8月27日～9月末まで

- ・都賀行隣保館ホール(神楽面、絵手紙、森林、習字)
- ・和室(あみもの、切り絵)
- ・玄関入り口(俳句)

今年も昨年度同様新型コロナウイルスの影響により、町民文化祭が中止となりました。そこで、受講生の皆さんの日頃の成果を見ていただく機会として、作品展を開催します。

これからの作品作りの参考や励み、楽しみの場としてたくさんの方に見に来ていただければと思います。

※作品の搬入は、次回の教室時または8月25日までをお願いします。

都賀行隣保館
TEL (82) 2679
FAX (74) 2121

